

課題の整理



目次

1. 課題の整理

- (1) 現状VICsについて
- (2) プローブ情報活用について

2. 議論の進め方

- (1) VICsプローブの位置づけ
- (2) 議論の対象

1. 課題の整理

(1) 現状VICsについて

- 利用者ニーズを考慮すると、情報提供路線数拡大が求められている。
- また、正確さやわかりやすさの充実・向上及び広域的な情報の提供が求められている。

【量の充実】 VICs情報提供路線は約8万リンク (全VICsリンクは約26万リンク)

- より多くの路線でのVICs情報の提供
- 多様なメディア(携帯電話、地上デジタル放送等)との連携
プローブ情報の活用がVICs情報提供路線数拡大の一つの選択肢

【質の向上】 正確さ・わかりやすさ

- 車線別情報の提供
- よりわかりやすい情報提供方法の実現(表示タイミング・多言語化等の表示方式、音声等の提供方式等)
- 生活道路への進入防止効果の向上
- 短期予測技術の向上による、所要時間情報精度の改善

1. 課題の整理

(2) プローブ情報活用について

- プローブ情報の活用は量の充実、またVICs情報の精度等の質の向上にも効果的。

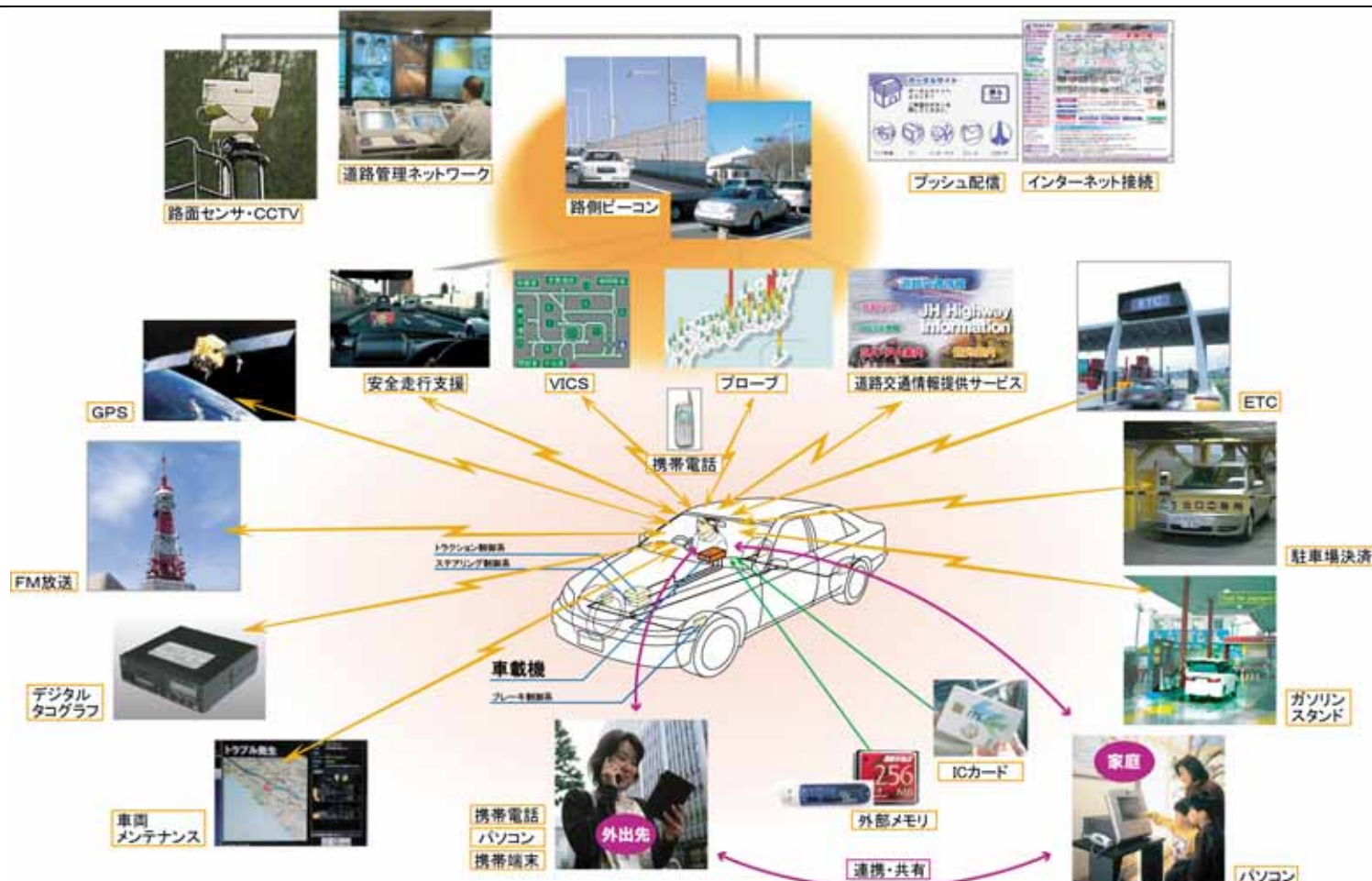
【プローブ情報活用にあたって】

- 収集情報量・編集処理量・提供量が膨大となることへの対応
(アップリンクするプローブ情報の項目、わかりやすい表示等)
- 収集したプローブ情報の取り扱いと有効活用
- 他のプローブ情報との連携
- 電子地図の定義の統一(リンク、生活道路等の定義)

2. 議論の進め方

(1) VICSプローブの位置づけ

- 路車協調の拡がりは以下の通り。
- 既存VICSシステムの有効活用を中心に議論、徐々にその発展について議論を進めていく。



2. 議論の進め方

(2) 議論の対象

- VICSを情報収集から車載機を通じた情報提供までのトータルなシステムと捉え、収集、編集・処理とその仕組み等、提供の3つのフェーズで整理。

先の議論の対象を踏まえ、資料-5、資料-6を作成

